

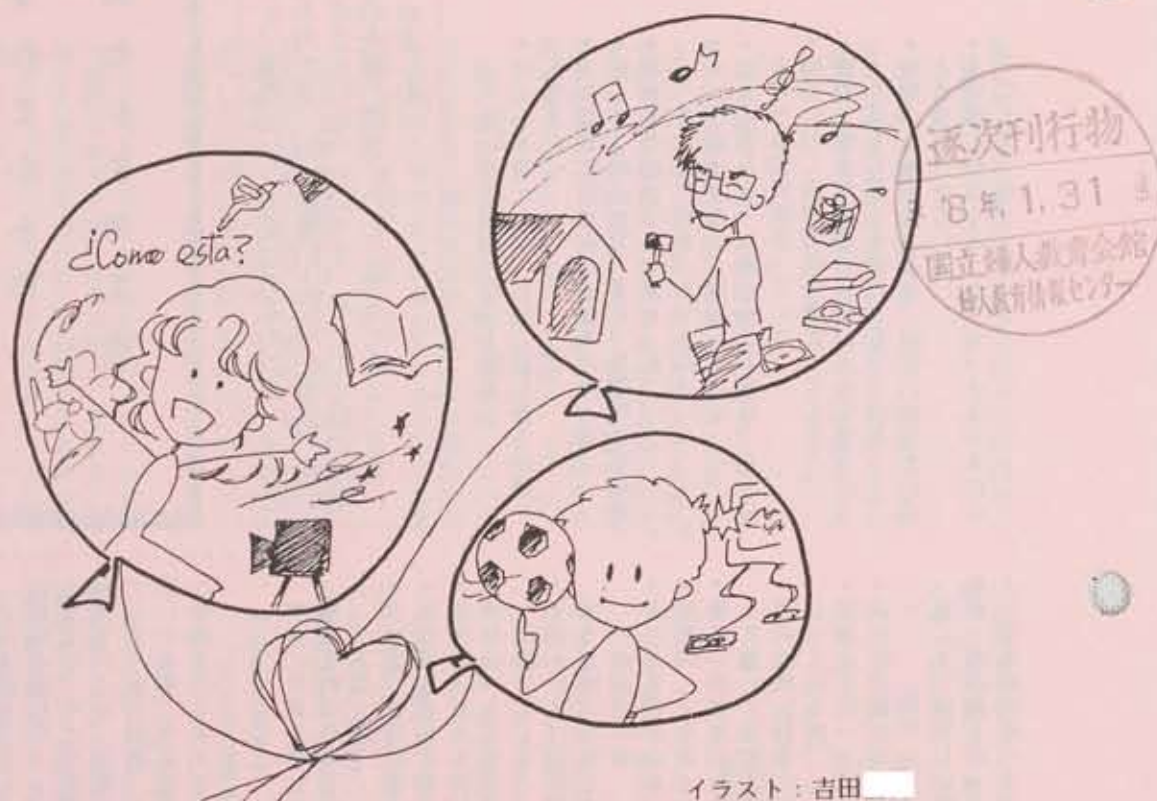
1996年 1・2月合併号

Enfanter ● No.215

# あんふぁんて

Enfanterとはフランス語で

①子を産む②(計画などを)考え出す③(作品などを)創り出す、の意



イラスト：吉田

## 特集：子どもが生まれてからの 夫婦の関わりを考える

p.2

・20周年記念イベント報告 p.8  
・新人コーナー p.11

・あんふぁんてからあんふぁんてへ p.12  
・情報コーナー p.15



◆これからの二人はどうなっていくと思いますか？又どのような家庭を作っていくと思いますか？

それだけが独立した関係になっていければと思います。夫婦・親子でも優してはいけな



りました。

「長女が風邪で熱があり、友人たちと出掛けるスキーをどうしようか迷いました。夫はスキーをしません。私は五年ぶりのスキーを楽しみたい。どうしよう。子どもが病気の場合、母親は当然の様に側についているもの。でもちょっと待って。それって変、不公平だよ。男親だったら子どもの病気を理由に旅行やゴルフを断るか？夫とさんさん話合った末、当日は夫が娘についていくことになる。私はさっぱりした気持ちで安心してスキーに出掛けました。が、やはり友人たちは「大丈夫？何か言っていなかった？子ども心配じゃない？」といぶかし気な様子。

この事があってから、子どもの事はお互い見れる方が見るようになったように思います。預け合っているうちに相手の育児のいい所、悪い所が見えてくるのですが、それはそれで新鮮だし、お互いの違いを認め合っている感じが育っています。」(千葉市)

どこでもそうらしいのですが、なぜか子育て世代のお父さんは仕事が忙がしすぎる。お母さん中心の生活に月三、四回お父さんが入ってくるという生活がおかしい。(八街市 T・N)

このままでは私の方から、夫への気持ちはどんどん冷めていきそうで怖い。もっとお互いの心について、本当はどう思っているのかどうしたいのか自由に話し合いたいのだが、(佐原市 Y・N)

楽しかったり面白かったりというのが良い。(杉並区 A・S)

お互いが認めて高め合っていく関係。これは私がお金を得る仕事を確固として持たないと不可能だろうと思っている。(広島市 A・N)

「夫婦である」という事実は変わらなくても、二人の関係は絶えず変わっていくものだと思う。結婚したばかりの頃と今とでも違う。今は子どもに目いっぱい手がかる時だけ、子どもはじきに大きくなって親から離れて行くものだから、やっぱり夫婦という関係を大切にしていきたいと思う。(亀岡市 A・M)

言いたいことが言える関係は維持したい。また子どもと暮らせるのもあと十年位なのでその間にしかできない事をたんのうして欲しい。(大田区 M・I)



### ◆本の紹介◆

「子供をもつと夫婦に何が起るか」

ジェイ・ベルスキー  
ジョン・ケリー  
安次領佳子(訳)

二五〇組のカップルを調査し、子供が生まれてから夫婦にどんな変化が起るか描いている。互いに良きパートナーであり続けるための秘訣を考えさせる本。

### 「揺れる家族」

FWM企画室 オープンザハート編

九〇〇円

申し込み先 ☎ 0723 (30) 1594  
月刊「おーぶんざはーと」編集部によって、企業戦士といわれる夫とその妻、女性の社会参加における問題など、たくさんの女性の声が集められている。これからの家族について考えるきっかけを与えてくれる。

## 特集

# 子どもが生まれてからの夫婦の関わりを考える

子どもの誕生は夫婦にとって幸せなこと。漠然とした不安はあるものの、子どもは夫婦のきずなを深めてくれると思つたものです。が、想像以上に辛い育児。夫に対しては今までのような様々な感情を覚えることになったのです。そこで今回の特集では、いくつかの項目をきっかけに、現在の夫婦の関係について考えてみようと思います。たくさんの方の皆さんの声をまとめてみました。

## アンケートの結果から

### ◆回答数 104通

◆年齢 妻・20代：18人 夫・20代：8人

30代：79人

40代：5人

50代：1人

◆妻の職業

有：25人

無：75人

◆子どもが出来てから夫婦の関係は変わりましたか？

へ変わらない～：32人

「良い方に変わった」：35人

・けんかも増えたが、会話(話し合う時間)も増えた。

・夫が家族に目を向けるようになった。

・思いやりの心がでてきた。人間的にも成長。

・精神的な結びつきが深まった。

「悪い方に変わった」：22人

・夫が信頼できない。期待しなくなった。

・恋人(男と女)の感じがなくなり、父と母という役割に収まっている。

・相手に対し利害関係を優先してしまふ。

・育児・家事など妻の負担が大きくなった。

・「良くも悪くも変わった」：13人

・時間の余裕がなくなり、お互いのしたいことを優先させている。

・夫に関心がなくなった。セックスストレスになつてしまった。

◆夫に不満を感じるのどんな時？又、信頼感を持つのはどんな時？

「不満」編

・女は家、男は仕事という古い考え方である。

・私の話を真剣に聞こうとしない。

・育児の大変さを理解してくれない。

・休日には一人でゴロゴロ。又は勝手にどこかへ出掛けてしまう。

・不満といえば24時間不満。不満を持つことでうさ晴らしをしているのかも。

「信頼感」編

・子どもをかわいがってくれる。

・家族のことを考えてくれると感じた時。

・優しい笑顔を見た時。私の気持ちをくみとって優しく接してくれる時。

・私の立場(仕事、姑に対してなど)を理解してくれる時。

・家事を手伝ってくれる。

・夫の社会観や冷静な判断力、体力。

妻(夫)が苦しい時に助けてくれるかどうかが一番の鍵となっているようです。その答えになるかわかりませんがこんなお便りもある。

どの夫婦も子どもが生まれた事で二人の間に感情の微妙なズレができていく事は確かかなようです。そこで生まれた不満を良い方向に持っていくか、我慢しているうちに悪化させてしまうかが問題。何よりもお互いが相手を思いやる事、そんな気持ちが持てるような心の余裕を作る努力をすることが大切では。



## 215

## 自由な意見



結婚してから丸四年です。すでに三ヶ月だったし、その後年子のように三人が次々と産まれているので、二人の時間でほとんどありません。最近では、ますます会話も減るし、互いにいたわりや優しい気持ちがなくなっているみたい。なにか話すと、刺々しい受け答えになったりして。やっぱり、はじめの頃の気持ち忘れられないようにしたいです。後は、協力的な夫に対してこの頃は、当たり前前の気分になっているので感謝を忘れないようにしたい。

(日高市)

どうなっていくか分らない。子どもがもう十二歳だから家を出なさいと言っている。十八歳がすぎたら夫婦の責任が一応終わりと思っているから後六年したらどうなっているか？家族解散説を唱えている福島瑞穂さんと同じだった。私の経済的自立が出来ていればそうしたい。夫がどう思っているかは疑問。(中略)年齢を経て気心の知れたボーイフレンドになれば一番いいあとと思っている。死ぬまで一緒にいたいとは思っていない。子育ての同志ではあったけれど、大好きな人にはなりえない気がする。(麻生区)

この問題って意外と根が深くって、幼児虐待、夫の働きすぎ、強いては日本全体の働き方や生き方、社会のあり方などいろいろ考えられると思う。(中略) 結局社会全体の流れには勝てないし、社会は早急に変えられない

でも私は今すぐ救われたかった。そこでせめて「自分は……」私の回りは……」と言う事で変えて行こうと思った。皆がそれぞれ自分の回りを變えて行こうとする事によって、全体が少しづつ變わっていくのではないでしようか。あきらめずに自分の夫から變えて行ってくれたらいいのにといつも思っている。

仕事という物は本当に扱いにくいと思います。夫の経済力にすべて頼っている私としては「そんなに仕事ばかりやらないでよ」と、言う事に大変戸惑いを感じてしまいます。仕事に全エネルギーをつぎ込まないでほしいと思います。夫と、仕事の関係はこれからどうなるんだらうと時々不安になります。

なるべくスキンスリップのチャンス私を作る。自分の心の中を示すノートを作り、夫婦でお互いに変わりばんこに書く。夫はさんざん催促しないと書かないが、以前より私の気持ちが伝わった。

(茅ヶ崎市 N・H)

子育て済みの五十代の会員です。「自由な意見」という事で。私が二十四、二十五で男の子を二人産みました。転勤の多い人が夫だったので二、三年毎の転居、もう三十年、そして定年まで続きます。さて、家族だから夫婦だからと、あえて单身なしでやってきました。どうせ子どもは離れて行くのだから、十八歳くらいまでは一緒に生活すべきと思ひ

うのと思いやるとの差は「愛」の有無に関わってくると思う。(名古屋市長)

乳幼児を持つてゐる場合と学齢期の子どもを持つ家庭と、育児の実質的な分担の量は違ふと思います。でもいかなる場合も精神的フォローは大切だと思います。また、子どもを持つてもよりよい父や母というより人間的に高めあつていく上での、人間対人間の關係でありたいと思うのは私だけでしょうか。男女のドキドキはなくなりつつあるけれど、気兼ねなく話せる人生のパートナーでありたいと思つてゐます。夫側の意見も聞いてみたいです。

（小金井市）

夫と私、育てられ方の違いがこれほど大人になったときに表れてくるとは思いませんでした。何かにつけ注意され続けてきた夫、その反対の私、話し合っても双方育児方針について譲る事が出来ません。

子どもの手が離れてきたと思ったら、夫の存在がどこかへいってしまつて淋しいです。そうしているのは自分も悪いのですが、上手くいっているご夫婦にぜひアドバイスしてほしいです。

（中野区）

何でも話し合う事。甘えあいながらも相手のどこか一つでも尊敬できる部分を探す事だ  
と思う。  
(大津市)

女は一步下がって歩くもの。育児、家事は

ました。プラスもマイナスもありましたが結果的には良かったと言えるでしょう。夫の事です。が転勤は夫自身にもストレスが多いので家の事などはあまりかかわりたくない傾向がありました。（愛情があるとかないとかいう次元ではなく）と言うわけで、私は子ども達の事、家の事に夫を振り向かせる事に一生懸命でした。毎日の生活の中で夫が子どもに関心を持ち、心と体で直接向き合う事を願いました。それぞれの家庭の状況の中で工夫した積み重ねの努力無しには、中高年の良い親子、夫婦の関係は作れないのではないのでしょうか。夫と二人の生活となりましたが、思うようにはいきません。しかし、少なくとも女、子どもに聞わり、できる事をやって行こうと言う私を応援してくれる夫を感じるとき、私は幸せです。

（横浜市 M・O）

夫婦円満というコトバはやめてほしい。前世的な感じ。夫婦は基本的に一生円満であり続ける事はないと思う。今、戸籍のあり方が問われているが、結局は夫婦制度そのものに改革が必要なのかもしれない。日本は戦前の家族の夫婦のあり方を何かというとききずり出しているような気がする。家長制度しかり。

(板橋区)

夫は家事や育児のできる事は手伝ってくれる人。でも本当に仕事に忙しくてとにかく時間がない。しかも体も丈夫とは言えない。本人も今の仕事に満足しておらず悩んでいる。そんな夫に育児を手伝えとは。私は私で育児や家事に疲れ、子どもに振り回されて毎日過

女の仕事。男がいつまでもそう思っている限り、真のパートナーにはなり得ないと感じています。自分の食べたものを片付けるのは当たり前、自分の事は自分でできる人が多くなれば、世の母親達がそう育てれば次世代の妻たちで苦労する人はいないはず。私は三歩下がるよりも一緒に歩きたい。だってその方が手もつなげるしね。三歩下がったら先に歩いている人が後ろの人の顔をみる事が出来ないのね。

（横浜市）

家の中にばかりに目が向いていると、人間小さくなって行きますね。夫がいない分（メキシコに単身留学中）子連れでいろんな所に出歩き、人と会い、ポジティブになってきました。そういう元気な自分を夫が喜んでくれる事が嬉しいです。（静岡市）

育児はやって当たり前だけれど、せめて夫にはきちんと見てもらいたいという気持ちがある。それともう少し自分の時間を持つのに協力してほしい。あまりにしたい事をしているように見えて夫に嫉妬心を感じてしまうほどです。

(板橋区 T・H)

男はよほどの例外を除けばみんな気が利かない鈍感だと思ふ。だから女が口をすっぱくして表現していかないと分かつてもらえない事が多い。女はあきらめずエネルギーを使つて声を大にして叫び続ける必要があると思ふ。また、夫のやつてくれない面ばかり見ると頭にくるので、やつてくれる面を認めていくと不満も減る。

(横浜市 E-1)



夫は人生のパートナーであり、また最大の親友でもあり、また仕事仲間でもあります。(夫・塾経営、私・高校教師)とにかくよく話します。話すことが楽しい。(中略)夫婦ではあるけれど快適に生活するためお互いに気を使うべきところは使い、甘えずすず頼りすぎないように気をつけています。(黒磯市)

夫の協力をもっと望みたいところだが、夫も仕事で忙しい、疲れているのでこれ以上はかわいそう。「夫を家庭に帰せ！」と言いたい。(大阪市)

なかなか実現が難しいが、半年に一度、一年に一度でもいいから夫婦二人でどこかに出かけてみる。出会った頃の二人の「共通項」を大切にすること。(中略)とかく家庭の中にこもりがちになる子育て期(〇〇三歳くらいまで)、妻の不満のホコ先は夫に向けるけれども、しかし夫自身では労働条件などどうしようもないことが多い。また夫という他人を変えるのはスゴクむずかしい。そこで夫に関しては割り切れる部分は割り切って目をつぶれる所はつぶります。その分、あんふぁんてなどいざ家庭の外の世界に目を向けてみませんか？そして楽しいこと、心の励ましになることを探しましょよ。(八王子市)

夫婦「家庭」というワケにとらわれず、共に生きていく仲間をつくっていくことも大切かもしれません。(広島市)

正直なところ、子どもが生まれると、夫を異性として(あるいは妻を異性として)見る余裕がなくなります。うちは今年で結婚六周年ですが、この六年の歳月がそうさせているとも言えるでしょう。それと、身近な既婚女性にたずねると、たいていの人が結婚する時点で子どもができた夫婦の関係はどうなるか想像できなかった人が多い。これは育児がどんなものか、どんな大変か想像できなかったからとも言えるのですが。(略)私の場合、まず仕事を再開するのが夫との関係を立て直す第一歩だと思います。経済的に自立する。自分に自信がつく。夫にも家事、育児を今より分担してもらえ。自分の理想の夫婦関係に近づく。(三鷹市)

アンケートの中には、子どもの有無に関わらず、良い関係を保ち続けている夫婦もいました。その中からある一組の夫婦に自由な意見を聞いてみました。

妻・さん(29)

夫は結婚当初から家事についてはとても協力的。二人の分担はトータルに公平になるようにというのがモットーで、以前私が遠距離通勤をしていた時も色々やってくれた。転居して通勤事情が逆転しても余裕があれば洗いや物などやってくれる。近所の人の話などで食

人から何と想像しようとするのか、信じる道を行くのが結局は円満への道と思う。夫の反対などというのは利害関係がからまっているので行動で示して納得させていくしかない。(川崎市)

子どもがいるとついつい母親は主人よりも子ども中心になってしまいがちです。でも時には主人との時間も必要だと思っています。そしてそういう心の余裕を母親に与えてくれるのは父親の家事の協力、育児参加が何より必要なことだと思っています。(高田郡)

こんな暮らしをしてみたい。男は仕事、女は家事、育児。こんな風に線を引かれた一組の男と女が、夫婦として一つの家庭に縛りつけられている形でも不自然で窮屈だよね、と私が強く感じるようになったのはごくごく最近のこと。(中略)いろんな暮らし方があると思うけど、私はやっぱり「男も女も自分の働く場を持っていて、そして家庭での生活も(育児を含めて)共に分かちあって楽しめる」形を求めたい。男を家庭に呼び戻すことも、自分も仕事をすることもあきらめたくない。「自分の食いちが自分だけで稼ぐ、そして暮らしも創っていく」人が生きるために最低限必要な能力は、いろんな事が便利になり過ぎて埋もれてしまっているのではないだろうか？今こそ、その人間本来の力を男も女も目覚めさせるときでは？と思う。(大阪市)

べた食器を下げないとか、疲れているんだからと言って何もしない等々を聞くとビクビクしてしまふ。私は現在育休中だが、比較的に子育てを楽しめているのは夫の協力によるところが大きいと思う。

夫・さん(36)

我が家では、子どもが生まれてからもわりとうまくいっている方だと思いますが、私自身の考え方としては、子どもが生まれる前後で特別変わったわけではありません。結婚前から「ひとつの家庭としてやらなければならぬ」事を夫婦でうまく分担する「もの」と思っており、そのやらなければならぬ事に育児が増えただけだからです。

それぞれの家庭では、仕事をしてお金を稼ぐだけでなく、家事や育児とやるのがたくさんありますが、夫婦二人とも幸せになるには、それをうまく平等に分担することだと思っています。「平等に」というのは、何も全て半分というのではなく、それぞれの家庭にに応じて好きな様に分担すれば良いのです。また、これは夫、これは妻と本来の分担が決まっているわけではないと思っています。おしめをかいたり、皿洗いをしている「手伝っている」という意識はありません。わが家では手のあいている方がやっているだけなのです。

私の考えるわが家の分担基準は「疲れ方が同じになること」と「どっちがやった方が合理的か」です。(中略)一言で言うとなんか疲れた状態にはしたくないという、単純な思いやりだと思います。私だけが楽をするた

子どもは決してがまんしないで自分を主張してきます。大人二人だけの生活では、大人同志適当に折り合いをつけていたことも、うまく回らなくなるとストレスが大人にたまってしまい、お互いに対する思いやりなど持たなくなってしまうがちな気がします。しんどくなったら、おじいちゃん、おばあちゃんや託児など子どもを預け、大人もゆっくりする時間を持つべきでは？育児、家事に関して、助けて欲しいと思ったことは口に出して言わなければなかなか分かってもらえません。どんなぶんかかるべきでは？(松山市 M・S)

家で待つばかりの生活をしていた頃は、夫の家庭に対する理解のなさにやりきれない思いがありました。自分の時間を持つ様になって夫の状況が少しは理解できる様になりました。お互い我が強いので、距離をキープするというのが良かったと思います。(松原市)

夫婦でもしかすると、十年なんて短いものじゃなくて、二十年、三十年と月日がたつにつれて味がでてくるものなのかなあ？(中略)結婚して子どもが生まれたこの期間が夫婦として一番大変な時期で、「倦怠期」といわれる時かもしれません。だからこのしんどい時期を二人がどう乗り切るかが今後の夫婦人生の一つの節目だと思う。これをどうすればいいのか私も分からず、いいいじけたり、子どもにイライラをぶついたりしています。が、これを過ぎてしまえばではなく、夫婦でしっかり見詰め合って話し合って、いっぱい

めに結婚したわけではありませんし、妻の疲れた顔を見ても、ちっとも楽しくありませんから。まもなく妻は職場復帰します。(中略)時には分担をめぐってめめることがあるかもしれませんが、何とか明るく乗り切っていこうと思っています。

夫が分担してくれるかどうかは、生まれ育った環境や、夫本来の性格、家庭の状況などによって違ってくるので、全ての夫婦が角谷さん夫婦のようになれるわけではありませんが、「単純な思いやり」という言葉にドキッとさせられた気はしませんか。

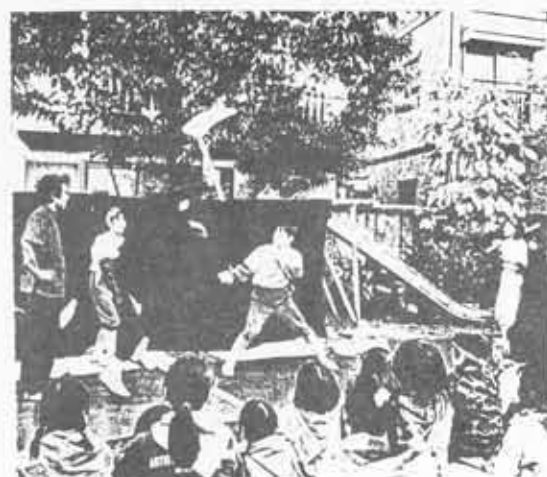
(あとがき)



子供が生まれると女性には悩み増えることがありますが。孤独な育児、社会的孤立、家事負担、仕事等。男性もそんな姿を見るものの長時間労働で家庭をかえり見るのができない。またただ単に家事育児は女性がかかるものと思っていたり。悩みはつきません。そんな時、夫婦がどう助け合えるのか、とこころから話し合い、解決しようとする。お互いの立場を理解し、思いやること。そういう姿勢を持つことは大切だと思います。家庭は社会の縮図であるところから生まれるような気がしてなりません。様々な声をうまくまとめられませんが、少しでも子供が生まれてからの夫婦の関係を直したい。ただのきっかけとなればいいなと思っています。最後にこの特集を組むにあたり、協力して下さった浮田さん、松本さん、また協力を申し出て下さった方々にここで御礼申し上げます。ありがとうございます。

岡西・金子





★今回の催しはイメージ通り？  
二十周年を機に、あんふぁんて設立の目的を（今回の催しを通して）知ることができるとは思いませんでした。二十年の歳月が流れ、世の中はすいぶん変わったはずなのに、子育てしている母親の苦悩や欲求はあまり変化していないようで、それがちょっと驚きでした。  
・アット・ホームな雰囲気、いろんなタイプの人がいて、自分が参加できるやり方で関わって、やっぱりあんふぁんてって感じ。おしつけがましくなくて、スタッフの方々と参加者とのギャップが感じられなくて、楽しかった。あつという間に時間が過ぎてしまった。私も「ゆっくり、前向きに、楽

## やりました！ 20周年 イベント

こころのインターネット  
キーワードは  
コミュニケーション

報告その②

しばらく元気で暮らせそうなの

エネルギーをもらったよ

参加アンケートから

★催しの内容について  
・「しんで」勇気をもらった気がする。  
・見る時間がなくて残念でした。  
・本や服を買わせてもらいました。場所のことを考えると、量的にはちょうどよかったと思います。  
・スリッパは自分の部屋にちょうど欲しかったので、百円で嬉しかったです。  
・人通りが少なくって、もう少しゆっくり見てくれたら。洋服など、必要なものがあったと思うのですが。  
・帰りにただ同然でわけて頂き、申し訳なかったです。  
・非常に面白い趣向だったと思います。活字になっているものを読むよりも、あんふぁんての歴史が実感できました。  
・あんふぁんての歴史を楽しくお話していただいて、パワーがすごいのと思いました。私は少し腰が重くバツバとできないので、刺激をうけました。  
・ワークショップ  
・短い時間でも自分のことを話すということ、自分も参加したのだという実感が持てました。  
・平場的なところでの催しで、良かったと思います。  
・講演内容  
・矢野さんのお話は私の興味のある自主保育のことだったので、とても参考になり、聞けてよかったです。「他人の子を預かって自分の子の可愛さがわかる」という言葉

がとっても印象的でした。  
・毛利先生のお話を聞き、ホッとしました。肩の力がぬけたという感じで、大変良かったです。  
・毛利先生からサインをいただいて、嬉しかったです（サイン欲しさに本を買ったのですが）。一人一人子どもを見て、その子その子に言葉を書いてくださったって感激しました。  
・グループ活動報告の展示  
・活動の様子は会報で大体知っていたけれど、各グループ毎個性的な報告で楽しかった。手作りっぽくてよかった。  
・あまりゆっくりみれなかったけど、皆がんばっているなって思った。  
・クラシック演奏  
・イベントの合間に音楽を楽しむというのはヨイですね。  
・選曲が親しみやすかった。  
・松永さんを中心に、大学時代の友人、高校時代の友人と、気のあった演奏が聞けてよかった。ステキな午後のひとときでした。  
・自分の結婚披露宴でかけた曲が二曲もあり、新婚当時のことをなつかしく思い出した。  
・子育て中の母親がもっとたくさんこんな時間を持てれば、育児ストレスも緩和されるのでは？やっぱり生（ナマ）はいい！  
・子どもを預かってもらい、一人でゆっくり聴くことができました。子どもにも聴かせてあげればよかったなと思いました。  
・お琴・お抹茶  
・なぜかお琴の音色は心を落ち着かせます。お抹茶とお菓子をいただく時は、思わず背

★その他感じたこと  
・神田さん矢野さん塩谷さんが、自分の持ち場が終わると見る側・聞く側にまわり、後片付けもする。出演する側にも見る側にもスッとなれる。ことばでうまく言えないけど、これって私、好きです。  
・プログラムの合間にトイレ休憩の時間をきちんととって欲しかった。  
・池袋という大きな駅の近くで、それでいて静かという場所が、とてもよかったです。  
・後片付けを手伝いましたが、各ボジションの方がきちんと責任をもってやっていらしたと思います。「どうしたらいいですか」と言うと、具体的に「ここをこうして下さい」と指示してくれて、やりやすかったです。  
・時間通りに進んで手際よく関心させられました。  
・子どものゼッケン、よかったです。  
・（小学校入学前までの子どもには、すぐに誰かわかるように、名前と年齢などを書いた布のゼッケンをつけました。）  
・ピンクのバンダナで連帯感がわきました。（参加者全員に入場券のかわりにピンクの布のバンダナを渡し、頭や肩に巻いてもらいました。）  
・しみじみあんふぁんてのよさを感じました  
・何をしても本人の判断まかせの、ゆるやかなネットワーク。だからこそ定着率も今ひ

とつなつかしいけれど、それもいいよネ。  
・いろいろな人がいていいんだよ。でも何かやりたいていう人がいたら、足をひっぱらないで無理もしないで、やってあげられることはやってあげようよ。いつのまにか自分も楽しくなっちゃうよ」というような催しでした。  
・みんなのアイデアから生まれた企画。盛り沢山だったけれど、「やってみよう！」精神と協力体制がうまくかみ合っていて、どれも中途半端という感じはしませんでした（一歩間違えたら大変なことになるのに！）。  
・高齢化社会になったら世の中のスピードは遅くなるよネ。子育てを大事にしたら、やっぱりゆるやかな暮らしになるよネ。あんふぁんてのゆるやかなネットワークは、二十一世紀に向けてますます見直されてくるのでは？子育て後もつながっていくようなネットワークとして、これからも大事にしていきたいです。  
・やっぱり来てみなきゃ  
・海老名市  
・顔を知らない会員と何人も会えたり、同じ様な悩みを持つ人も探せたり、私にとってもステキな一日でした。やっぱり来てみなきゃ体を動かさなくちゃ、ステキな事には出会えないですね。「思いは距離を縮める」が実感できました。  
・それにしても知らないうちに古株に近くなってしまうのか、小さなお子さん連れの方が多かったですね。もう少し年齢の大きい子のいる人達にも会いたいです。



イベントスタッフをやってみて

草加市

受付を杉山さんとやなさんと三人でやり、まさに文化祭ののりで楽しませてもらいました。仕事はてきぱきとはいかず、みなさんの足を引っばっていたのですが、お二人の近況を合間にいろいろ聞けて勇気づけられました。受付を通られる参加者の方で二人に声をかけられたこともうれしかったです。名札の地域を見て「近くですよ」と言ってくれたり、名前を見て「会報に出た私の近況と同じことがあった」と言ってくれた人もいました。これもまさに「コミュニケーション」なのでしょう。そういう出会いって普段ないものだから、新鮮なおどろきでした。

それから、託児のおかげで心底楽しめたというところもあります。二人の子を初めてお預りするの心配していましたが、保育さんもヒーローショーも魅力的でなかなか帰れず困ってしまう程でした。子供にとっても、めったにない経験をさせてもらえて、親に付き合せてうしろめたさも、ちよう消しになったかな、と勝手に思っています。

下の子が三年保育を目前に、何がこの子にとって一番か、と悩んでいる最中で、矢郷さんの自主保育の話は、ためになったのですがまた悩みのたねが一つ増えてしまったかな。



という感じです。資料もいただいていたのでじっくり読んでいます。「Wedo」の資料も手に入れて、これもまた悩みのたねになりましたが、すごく良かったです。まさに私が悩んでいることが書いてあり、ホッとしましたけど、もっとしっかりせねば、と肩をたたかれました。

親子共々楽しませてもらえて、できることなら、ちようくちようやって欲しいです。もちろん、お手伝いはさせていただきますよ。それと、やはり近くの人に連絡をとってみようと思いました。声をかけてくれた人もいたんだし、自分の近くで輪を広げたいなと思いました。

八王子市

熱狂的な盛り上がりや派手なパフォーマンスはなく、それがあんふぁんてらしくてよかったと思います。閉会のあいさつの古知さんの言葉にもありました「学園祭風」。頭でっかちにならず、心に訴えるものがあつたように感じました。

今回感銘を受けたことにあんふぁんてって何をやるにも押し付けや強制をしないグループなんだなということです。「これ、やって下さい」とか「これがノルマです」という上から下への伝達式のもの、まるでありません。古参の会員（？）が先輩ぶることもなく、一人一人が「大人の女」なんだなと思いました。

惜しむらくは、こんないいイベント、もっと多くの会員に来てもらいたかったなということ。それも、子どもが5才から5才くらい



の、毎日育児でヒーヒー言っている人達にです。池袋だから、埼玉方面の人がもつと来るかと思っていたのに。

私も、あんふぁんてを二年半やってきましたが、やはり人と人とのナマの出会いがなくちゃダメだと思います。言葉（例えば会報や回覧ノートとか）のやりとりだけじゃ、机上の空論的な虚しさが残ります。相手と直に会い、その人がどんな人であるか知ることから、何かが始まっていくと思うのですが。

今後は、「どうしたら小さい子を抱えて腰が重い人達を引っ張りだせるか」「今回のような催しを近くで開くには」と、頭をひねってみます。

## 新人コーナー

●

とりあげたいテーマは、①転勤（辞令ひとつで私と子どもたち、家族すべての生活が変わってしまう。転勤によって失ったものが多すぎる）。②幼稚園の現状。③小学校入学に關して（文字などは教えるべきか）の三つです。

転勤で北海道から東京へ。下の子が生後一ヶ月になった日に越してきました。親しい友だちとも別れ、マタニティブルー（？）とも重なり、につまった毎日でした。そんなときに「あんふぁんて」を知り、仲間づくりがしたくて入会しました。「おのほりさん」気分の日も楽しいけど、やっぱり広い空の下で暮らしたいなあ。

● 「子どもって三歳までは母親がそばにいないとダメなの？」ということを考えたい。夫は、親がめんどろみないといけないという。私は一歳二ヶ月の娘をみてきて、そうは思わないのだが。

夫の協力を得られず（夫はそう思っていない）、産後一年間は大変でした。はじめての育児で精神的にまいってしまったりしていま

● ◎入会半年くらいにの会員に送る自己紹介ハガキアンケートからの便りです。リアルタイムの掲載にためていますが、誌面づくりの関係上かなわらないことがある点、お許しください。でも、100%掲載をめざしますので、気長におつきあいください。また、これからの方、自己PRも大歓迎。ふるって便りください。【編集担当】杉山 一〇〇

●

とりあげたいテーマは転勤について。

結婚して三年めにして、はじめての夫の転勤でした。九ヶ月たち、ずいぶん慣れましたが、ときどき夫も仕事にゆきつづまり、私も子育てに疲れるときも……。子どもはともかわいけれど、ときには疲れる存在でもあり。まず、けれども心身ともに疲れたとき、いつもギリギリのところ立ったとき、最後は子どものこぼれるような笑顔とやっとおしゃべりが上手になってちよつとつたないけれど、「ママ、大丈夫？」という子どももなりの思いやりを感じたとき、スッと救われる気がします。

● この子がいるから生きていけると思います。「あんふぁんて」は毎回本音が伝わってきて読みごたえがあります。

●

子育てをしていても、責任をもって仕事をしたいと思う人も多くはすです。しかし、最近核家族や転勤族が多く、急な残業などあると、子どもをみてくれる人がいないと思えます。夜間保育をしてくれる所も数える程度。そのなかで、育児と仕事をどうやって両立していくのか？ なにかいい方法がないのでしょうか。

●

子育て中に、共働きを両立させる方法がテーマで、来年「これがみんなの目に入る時点では、今年、次の服部さんも年越しのお便りです。……編集担当」、二人めが生まれるので、子どもを産んでしばらくの家事、上の子の世話など、先輩の話を開いたらと思う。

●

● 12月に出産予定です。楽しみで毎日わくわくしていますが、とり残されないう身も心も鍛えておきたいとおもっています。「あんふぁんて」はいい刺激になります。



十月初旬、急に転勤になり、現在広島を離れて、神奈川県川崎市にいます。二年前まで同じ市内（区は違う）にいたこともあり、変な感じでした。引っ越したような気がしません。でも今までのあんふぁんて広島の方々と距離が遠くなり、やはり淋しいです。というのも、新しくなった？あんふぁんて広島はますます元気ということが何だかうれしくて、FAXなどでやりとりして、あまり遠さは感じないといえ、仲間の中にい

川崎に越してきて

川崎市

もうすぐ三歳になる娘がいます。区役所主催の幼児教室に参加して、集団の中での自分の子どもの行動にふりまわされたり、感心したり、悩みながら過ごしてきましたが、三年保育でどこかに通わせたい方がこの子のためにも良い、そうしないと自分の身がもたないと思ひ、九月になってまわりの幼稚園を調べ、見学して、最後は一番納得できたモンテッソーリ教育の幼稚園にしました。これで、ひと安心。

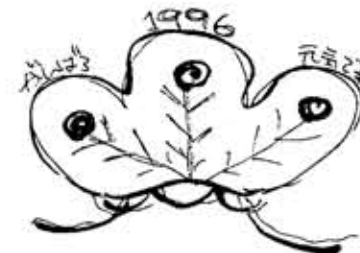
今年からは三時間ぐらいいは自分の時間が持てるので、たまっている映画のビデオを見たり、家の中を整理したり、本を読んだり、長い間描いていない油絵も描けるかなと思っています。

私の近況報告

横浜市

あんふぁんては、子育て真っ最中の人から、子どもが大きくなって、そろそろ自分のことを見つめようとしている人などいろんな人がいます。そんないろんな人の声を集めて

あんふぁんて から  
あんふぁんてへ



そのままだの私を癒しめて

神戸市垂水区

いつだってそうだった。他人の目が恐くていつもすみっぴかかわれていた。だから、子どもを連れてどこかに行くのって好きじゃない。子どもはやっぱり子どもだから、どこに行ってもうるさい、チヨロチヨロする。軽く注意したって聞くもんじゃない。しまいはつい、手が。当然まわりの目は私に注目。何て悪い母親だ、と思われているようです。ますます落ち込む。——いつものパターン。

だいたい自分の心でさえ、ぎりぎりのところで保っているような人間なのだ。子どもの心を考えてやるような余裕なんてあるものか。もつと余裕を持ちなさい。もつとのおんぴりしなさい。まわりの人はやさしい忠告をいろいろしてくれる。でもそれができないからつらいんだ。だまって、私を受けとめてほしい。このままの、アホでどうしようもないお母さんだけど、そのままだの私を抱きしめてほしい。——ムリだよ。と私の心が言う。そんな人いるものか、と。

母親という、底なし沼に半ば自ら望んで入りこんでいる。助けて、だれか助けて、と手をあげながら。

お母さんになる資格なんて、無かったのかもしれないね。育児ノイローゼ？それとも少しうつ病？（事実、ある時期はうつ病でしたから……）

（ダソク）さだまさしさんのコンサートのビデオ、買いました。グレイプの頃から、彼が好きでしたが、やはりいろいろと忙しさにまぎれて、この十年ほどは時々テレビで唄を聞くくらいでした。

私が私でいられる時間がほしいと思つて、暗い人は言います。でも、やっぱり私はさだまさしって好きです。

仕事はしたいけど

大和郡山市

始めまして。

現在（十月二十三日）、一歳三カ月の子ども

生まれて はじめて

横浜市

はじめてのプールは  
すこしこわくて はいれなくて  
水面をじっとみていた

はじめての花火は  
目をまるくして  
「ワアーツ」とさけんでいた

はじめての盆踊りは  
太鼓の音に 体がどんどん動いた

「という人がやはりいいな、うらやましいと感じます。」

もともと「孤（ひとり）」を好む方ではあります。ここ川崎でもサークル活動は盛んで、上の子の幼稚園も、その地元自主サークルの人からの資料を貸してもらって決めました。その中に「親子いっしょなんて幼稚園までから」この一言が心に残っています。川崎に引っ越したら、働く、保育園に入れようと申請までしたものの、「託児所」費があまり高い。面接ひとつのために二人で一万円かかりました。入会金も必要だった。加えて川崎市は「一時預かり制度」がない。くやしくて、市長への手紙を出しました。返事はな

もあり、妊娠七カ月になります（年齢は三十六歳）。目下の迷いは、仕事のこと。職業はフリーのコピーライターなので、大部分が家でできる仕事なのですが、「育児休暇」とか「失業保険」といった保証はもちろん何もなし。不況なのでたまたま仕事は少なく、子持ちになったとたん仕事は激減。ほとんど無職状態です。長女を保育園に預けて本格的に仕事を再開すべきか、それにしても二番目は生まれてくるし。保育料は高いし。

夫は、保育園に預けると子どものいろんな成長の過程を全部見ることができないのは勿体ないと言います。できるだけ、家事・育児の協力を（実際、一般よりはずっと協力的）で預けず、仕事もぼろぼろしてほしいようです。また、どうしても仕事を前のようにしたいなら、夫が専業主夫になってもよいと言いますが、そこまで稼ぐ自信も今はないし、不安定な職業なので、将来的にも不安です。私自身、このままなしくずしに仕事をやめてしまふのは嫌だけど、もう少し、子どもと過ごすノンビリした時間を大切にしたい気もして、保育所に預けるフンギリもつかない状態です。

働くお母さんの意見をお伺いしたいです。また、マル高のお母さん、頑張りましょう。



はじめての傘をさした日  
空に高く 持ち上げてみた

この小さな子の よろこび  
小さな目の かがやき

遠い昔に 味わった感覚  
忘れていた おどろき

いっしょに 小石を水たまりに  
投げてみよう  
気のすむまで いっしょに

くともそんな意見もあったと、誰かが読んでくれるだろうから。

広島では、「素敵な女性」という講座をやっている、心理学の講師を招いての託児つきセミナーも盛況だったというお手紙もきて、さすがパワーがある！と感じ入っています。森田さんも私も、急に関東へ転居となったけど、個々が皆強い。「個で行動できる人は集団もできる」ということも、改めて思っています。

現在、在宅ワープロの仕事は近所の人からもらい、地道に可能な範囲で仕事をしていきたいと思っています。

あんふぁんての過去の卒あんふぁんての名





★平日あんふぁんて 東京都児童会館  
2月22日(木) 11時～2時 1Fロビー集合  
全館子どもが楽しめるスペース。図書室・  
プレイルーム・食堂等があり、渋谷駅から7  
分位です。参加希望者は2月21日(水) 午後1  
時までに、事務局まで申し込んで下さい。

★仲間を求めています  
自主保育・預け合いに興味があります。一  
才半の娘がいます。子どもとともに親子で楽  
しめる何かをやりたいと思っています。とり  
あえずは、親同士でべちゃくちゃおしゃべり  
しませんか。ぜひ、連絡お待ちしています。  
それに、チャイルド・カーシートが欲しい  
のですが、どなたか譲って頂けませんか？着  
脱の簡単な方がいいです。値段は三、四千元  
位です。往復ハガキでお願いします。

## 情報コーナー

★(大阪発)関西メンバー定例会  
2月15日(木) 午前10時より  
ドインセンター小会議室①  
(京阪・地下鉄 谷町線天満橋駅下車)  
弁当・飲み物・おやつ・着替え等持参  
参加費：300円程度 2才以上保育あり  
保育申し込み、詳細は笹谷

★「アフタヌーン・ティ」会員募集  
インテリアや雑貨、フラワーアレンジメン  
トなど、生活のセンスアップをはかるサークル  
を作りました。子どもを預けあって手作り  
作品を作りたい、プロの人を招いて託児  
付きで勉強会もしたい、などと考えています。  
子どもがいてもおしゃべりな暮らしを目指し  
て、いっしょに感性をみがきましょう。興味  
のある方は、左記までご連絡ください。

★「11月定例会報告」  
11月10日は天王寺公園に大人三人、子ども  
二人が集まりました。このところ、会計の引  
継ぎ、決めなければならぬ事が多くて、話  
そのものを楽しく時間が少なかったのですが  
この日はゆっくりと話ができました。これから  
冬の寒い間はドインセンターの暖かい部  
屋です。赤ちゃん連れの人も来られると  
いいな。二才以上は「こどものへや」で保育  
があります(おやつ・保険料150円)。こ  
どもをちゃんと膝から話して、おしゃべりし  
ませんか。(大阪市・)

## 事務局から

●「日月曜日はあんふぁんての日」に  
交流会で決めたこの一年の目標は「心を開  
いて仲間とつながることをめざす」。イベン  
ト後各地の会員同士の交流が盛んになりつ  
つあり、東京でも毎週月曜を会員が集まる日  
に、ミーティング等の予定がなくても来て！  
●編集委員・新企画のスタッフ  
を大募集。地方の人も自分の地域でやる企  
画を考えて応募して下さい。詩・イラストも  
試作品を送ってね。

●新グループ・プリストを作成します。  
旧リストに載っていないグループやこれから  
呼びかけたい人は、十八五五五連絡をう  
●おねだりに興味ある人募集。「お産サイド  
ブック・新版」作りの計画あり。

●「スケッチ・ユール・メモ」  
2月5日(月) ミーティング 11時～2時半  
2月19日(月) 編集会議 11時～2時半  
2月22日(木) 平日あんふぁんて(児童会館)  
2月24日(土) 土曜あんふぁんて(夜6時)  
大人のみの飲食物実費負担(幾代宅)  
3月4日(月) 3月号発送作業(事務局)

★参加者は事前に連絡下さい。  
●あんふぁんては会員の会費のみで運営して  
います。会費の振込がまだの方は至急振込を  
お願いします。会費が切れても本人からの連  
絡がない限り退会などの措置はとれません。  
退会・休会・転居等の場合必ず連絡下さい。

簿作り、参加させてもらえたら！そして「あ  
んふぁんて同窓会」なんてのが年一回でも  
あつて宴会できたら！世代を超えて語り合え  
たら！などと思っています(宴会好きなんも  
で)。しかし、二十一年もの方々のOB名簿  
って、何千？何万？、軽く引き受けられんも  
んならどーしよ、と思ったりしています。  
やりたいのは「文書き」と「花」仕事。し  
ばらく休養して再スタートするつもりです。

東京あんふぁんて十一月例会  
平日あんふぁんて報告  
松戸市

十四名の申し込みがあり、当日は十二名集  
まりました。  
託児の協力があったため、チヨロチヨロ走  
り回る子どものことを気にせず、大人たちが  
ゆつくりと話すことができました。感謝(託  
児八名、保母三名)。各自、自己紹介の後、  
旧松戸グループで活動されていた先輩のニ  
ュヨークでの生活ぶりを伺い、一同ため息。  
親が子どもに縛りつけられない社会ってう  
やましい。あつという間に時間が過ぎ、十  
二月の忘年会での再会を約束し、散会となり  
ました。



ふくねなさい

練馬区

消えなくなるようなことがあつて、会報で  
呼びかけて活動を始めたグループ『長屋の連  
中』にも音沙汰なしで、申し訳ありませんで  
した。心からお詫言ひ申し上げます。許してく

『龍平の未来 エイズと闘う19歳』

(広河隆一、川田悦子著、講談社)  
定価 一五〇〇円  
豊島区

十月三十日、コープ東京主催のふくし  
まつりで、川田龍平さんの講演をききま  
した。輸入血液製剤が危険性をともなう  
というアメリカの新聞報道があるのに、  
血友病患者に医師や病院は、利益のため  
にこの血液製剤を使わせ続けたのです。  
彼は講演の中でも、決して声を荒げ  
ることなく、薬害のおそろしさを訴え続け  
ます。

小五の十歳の時に、母親から、エイズ  
と告知された時、彼は「やっぱりそうか。  
もう永くは生きられないのか。」と思っ  
たそうです。

私の娘は今、小四と小六。この写真集  
を母子三人で見たときに涙が出てきます。  
私は彼の講演をきくまで、薬害エイズ  
が病院や医師たちがつくったおそろしい

れる人は、またお便り下さい。ちゃんと連絡  
いたします。  
実は今、離婚問題で悩んでいるのです。裁  
判を起こす際の注意とか、起こさずにスバツ  
と別れるにはとか、離婚調停に詳しい方の連  
絡も切にお待ちしております。よろしく。

ものだといふからくりを、はつきりと知  
りませんでした。日本では人の命よりも  
利益が優先されて、龍平さんは危険な薬  
を打ち続けました。彼は今、エイズの発  
症をくいとめるための予防治療のインタ  
ーフェロンの注射を、おなかに皮下注射  
で打っています。一週間に二回、がまん  
して打っている様子の写真は、見ている  
私たちに、彼のくやしさを、無念さを、ひ  
しひと伝えてきます。

子育て中の方も、写真集のこの本なら  
ばきつと読むことが可能だと思います。  
十歳の時に告知され、十九歳の今、薬害  
エイズのおそろしさを訴えるため、実名  
を公表して、講演活動を意欲的になさる  
川田さん。

講演終了後、この本に寄せ書きをいた  
だきました。

「広い 視野で」  
川田龍平



## 「薬害エイズ」も「原発」も、人ごとではない!

これは「あんふぁんて」に送られて来た署名用紙です。「チェルノブイリ」コーナーでも取り上げている通り、原発はとても身近で重要な問題なので、関心のある方は協力を!

(事務局・スタッフ)

### ●地震の活動期に入った今、 もっとも危ない浜岡原発4基!

世界の面積のたった0.1%しかない日本に、世界の10%の地震が起きています。そんな地震大国が50基もの原発を抱えています。

気象情報でよく出てくる静岡県御前崎(おまえざき)の隣の浜岡町には中部電力の原発が4基、海岸べりに並んでいます。この近くは、太平洋プレート、ユーラシア・プレート、フィリピン海プレートが交錯している所で、過去にマグニチュード(M)8.4クラスの巨大地震が何度も起きています。

国は1978年に、ここでM8クラスの“東海地震”が起きると予測して「地震観測強化地域」に指定しました。M8の地震はM7.2の阪神大震災の約16倍の巨大地震となります。

浜岡原発は東海地震の“予想震源域”のど真ん中にあるため、直下型地震に襲われることになります。ずらりと並んでいる4基の浜岡原発が、核分裂して発電している時に、巨大地震に襲われたら……。

### ●国と電力会社の矛盾

1995年1月17日 早朝に起きた阪神大震災は想像を絶する大惨事となりました。6千人に及ぶ人々が亡くなり、絶対に壊れないといわれていた高速道路や新幹線が破壊され、鉄筋コンクリートのビルも大破しました。

「想定外のこと」という弁解の言葉が飛び交う中で、日本の安全神話はあっけなく崩壊しました。

2月11日 国は「原発は活断層の上には造らない、考えられる最大の地震に耐えられる、堅い岩盤の上に直接建設する」などと、日本の原発がいかに「安全」かを新聞各紙に広告を出して宣伝しました。

9月末 国は原発の耐震設計の見直しをしたと発表しました。「すべての原発が、現在の耐震設計でどんな地震にも耐えられる」という結論でした。

11月30日 国の原子力安全委員会は、電力会社などが「炉心溶融のような大事故に備えて、原発1基に約10億円の費用をかけて2001年までに対策を取る」ということを認めました。

阪神大震災後の国と電力会社の動きの中に、原子力政策がいかに矛盾だらけで机上の空論かをはっきりと読み取ることができます。

### ●放射能災害に対して防災はない!

国は、日本の原発は「考えられる地震や事故」では壊れないと考えていますから、放射能の防災対策はまったく行っていません。地震や事故で原発が破壊して、放射能が私たちを襲っても、「考えられない地震や事故」だったと言い訳をするだけで、責任はとらないのです。またとれるものでもありません。

私たちは、原発が地震や事故で破壊したら、国や電力会社によって、見殺しにされるのです。チェルノブイリのように放射能の生き地獄の中で、想像を絶するような苦しみを背負って生き続けて行かなければなりません。

国連は「1986年4月26日に起きたチェルノブイリ原発事故で、現在、800万人

がヒバクシャとなって、子どもたちに甲状腺ガンが急増している」と発表しました。半減期の長い放射能によって、被害はこれから果てしなく深刻化するのです。

### ●アメリカ原子力規制委員会の警告

アメリカの原子力規制委員会は、「地震で原発の送電線碍子が破損し、全電源が失われると、炉心溶融事故が起きる恐れがある」と警告しています。

日本の原発はすべて海岸べりに建てられています。それは大量の水を必要とするものだからです。地震は津波や引き波を引き起こします。大きな津波が原発を直撃したり、引き波で取水口がむき出しとなって、原子炉が空だきになるかもしれません。自然の猛威を侮ってはならないのです

### ●私たちは、これ以上「負の遺産」を 次の世代に残したくない!

50年前、原子爆弾でヒバクしたナガサキの稲もみは、人工放射能から出される放射線で遺伝子が傷つけられました。戦後、ヒバクした稲もみを、ずっと植えつづけている人々がいます。遺伝子を傷つけられた稲もみは「からもみ」という形で表に出ました。同じ穂についていた一見して正常に見える稲もみも、次の世代、あるいは、その先の世代に「からもみ」という異常な形で顕れ、後の世代へ伝え続けています。

原発が大事故を起こしたら、大量に放出される人工放射能によって、生きとし生けるものすべてが、稲もみと同じ運命をたどる危険をはらんでいます。

傷つけられた遺伝子という「負の遺産」をこれ以上、次の世代、未来へ残したくありません。

### ●浜岡原発が地震で破壊される前に 止めたい!

国や製薬会社、医師の「非加熱製剤は安全」を信じさせられて「薬害エイズ」に冒された血友病の若者が、「5日に1人「殺され」ている」と訴えています。「非加熱製剤」は胃の手術などにも使われていました。「薬害エイズ」はすべての人の問題です。

国や電力会社の矛盾した「原発は安全」論には、すべての人々が関心をもたなければならない問題です。それは「非加熱製剤」でとった国の姿勢とまったく同じだからです。国や電力会社の矛盾した「原発は安全」を信じて、放射能で「ころされない」ためには、すべての原発を止めなければなりません。

しかし、地震と原発を重ねあわせた時、50基の中で、最も緊急に止めなければならないのは、浜岡原発です。今、東海地震が先か、浜岡原発を止めるのが先かの差し迫った状況に、すべての人々が追い込まれています。人間が東海地震を止めることは出来ません。しかし、人間が動かしている原発は、人間が止めることが出来ます。

多くの人々と共に、一刻も早く浜岡原発を止めたいと、この署名活動を始めました。  
(署名活動開始 1995年12月)

●問い合わせ/小田 03-5674-7023・落合 0424-62-0377・石田 03-3765-3880・リンドラ 0423-86-1000・佐藤 0422-51-7602

●署名の送り先/〒180 東京都武蔵野市境2-11-4 PKO法「雑則」を広める会

●締切り/中部電力が浜岡原発を止めるまで

●一定の数が集まったら、その都度、中部電力に提出します。

●原発を止めるために、『アヒンサー・地震と原発』(1,000円) 抜刷アヒンサー・地震と原発『平井憲夫さんのお話』(300円)を活用してください(共に送料別)。問い合わせは上記へ。

●コピーして広めてください。署名活動を通して浜岡原発が東海地震で危ないことを伝えてください。

中部電力株式会社社長 殿

年 月 日

一、東海地震が起きる前に、浜岡原発を止めて下さい。

氏 名	住 所
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県

取り扱い団体・個人

あんふぁんて

PKO法「雑則」を広める会



